

小倉尚人展 永遠の求道

— 3人の鑑賞者とめぐる小倉尚人の
〈仏道〉〈画道〉そして〈現代アート/ポップカルチャー〉の世界 —

本展は、近年急速に注目されつつある、これまでほとんど知られることがなかった小倉尚人(1944～2009)の世界を紹介する初めての回顧展です。

小倉は、旧満州に生まれて福島県に引き揚げたのちに神奈川県に移り、東京学芸大学美術科を卒業後、仏道と画道を「不二の行」として、仏教の研究・修行として絵画の制作に専念し続けました。特に30歳から40歳にかけては、抽象表現によるまったく独自の、180×180cmという大作の阿耨曼荼羅全18点を描き上げ、全国紙や美術雑誌で大きく取り上げられました。

しかしその後は、「名利は自分の成長の何の役にも立たない」と、世俗との接触を徹底して避けて作品を公にすることはなく、三十三観音、羅漢、釈迦涅槃図などの多数の仏画を描き、福島県南相馬市の寺への奉納を続けました。その道は山水画に行き着くものの未完のままに64歳で生涯を終えました。

残された作品は抽象・具象表現の曼荼羅・仏画を中心におよそ900点を数え、仏画の枠を超えて現代アート、あるいは今日のキャラクター表現などのポップカルチャーにまで通じる広がりを持っています。

この展示では、〈仏道〉〈画道〉〈現代アート/ポップカルチャー〉という、それぞれの関心を持つ3人の鑑賞者とともに会場をめぐることで、今日の社会において強い存在感を示す小倉の作品の多様な魅力とその生涯をわかりやすくお伝えします。



阿弥陀仏 遺作



十二天 毘沙門天

関連行事 ※イベントは全て要予約

第一部 10月6日(日)～10月31日(木)

第二部 11月2日(土)～2020年1月14日(火)

10月 6日(日)13:30～ 「小倉尚人を語る」講演会 岩屋寺 東堂:星見全英氏
和光大学公開講座講師:江渡英之氏

11月 3日(日)13:30～ 3人の講演会 東洋大学長:竹村牧男氏
日本大学大学院客員教授:金子啓明氏
小倉尚人夫人:小倉靖子氏

11月 4日(月・祝)13:30～ 座禅講座

11月16日(土)13:00～ 曼荼羅アートを楽しむ 講師:江渡英之氏



五日市街道の樺



不二観音



釈迦涅槃図

アクセス

- お車**
- 練馬I.C.から2時間半
 - 関東・北陸方面から 上信越道東部湯の丸インターから15分。
 - 中部・関西方面から 長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号線経由で約1時間。
- 鉄道**
- 東京から最速2時間 しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分。
 - 関東・北陸方面から 北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
 - 中部・関西方面から 特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車。

赤い矢印のルートをお通り下さい。

東部湯の丸インターまでの距離
高崎98Km / 練馬167Km / 長野36Km / 新潟242Km

